

(別紙)

障害福祉分野のロボット等導入支援事業(令和4年度第二次補正予算分)
(施設等に対する導入支援分) 事業報告書

自治体名 愛知県

【基本情報】

Table with 2 columns: Field (フリガナ, 法人名, etc.) and Value (シャカイフクシホウジンタンポポハウス, etc.). Includes total staff count of 4.8 people.

(1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: [x] 移乗介護 [] 排泄支援 [] 入浴支援
[] 移動支援 [x] 見守り・コミュニケーション

(2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

Table showing business content, staff count, occurrence count, and time for pre-introduction tasks. Total time: 16,436 person-hours.

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援
※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等
※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

一日あたりの発生件数 × 利用者の利用日数

<※2>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

特定日を設けて計算を行う: 一日の実際のかかった時間の合計 ÷ 一日の発生件数

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

Table showing business content, staff count, occurrence count, and time for post-introduction tasks. Total time: 16,436 person-hours.

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

一日あたりの発生件数 × 利用者の利用日数

<※4>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

特定日を設けて計算を行う: 一日の実際のかかった時間の合計 ÷ 一日の発生件数

年間業務時間数想定削減率(%)

0.0%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

--

(4)ロボット機器等の導入により得られた気づきや今後の課題等について必ず記載すること。

眠りスキャンに関しては、利用者の眠りの状態を深く知ることが出来、寝ているようでしっかりと眠れていないことが分かり、機器を通してよく分かることが出来ました。また、マッスルスーツについても取り外した時に自分の身体のどの部分を使って支援を行っているかを知る事が出来、着用していない時もその部分をケアしながら支援にあたる様になりました。このような気づきを与えてもらい、今後の支援につながる様にしていきたいと思ひます。課題については、上記のような気づきを支援に活かせることが出来るようにすることと、また支援に役立つロボット機器を上手に利用できる様に色々な情報を得られるようにしていく事だと考えています。

○その他導入後の改善事項

≪職場環境の改善≫

【眠りスキャン】手元のパソコンを確認することによって、利用者の睡眠状態を把握することが出来、足音を忍ばせて枕元まで行く必要が無くなった。(居室の前までは行き、確認を行っている。)

【マッスルスーツ】職員の腰の痛みの軽減につながっている。

≪サービスの質の向上≫

【眠りスキャン】利用者にとっては、睡眠時に居室に入って来られることなく、安眠を妨げられることが少なくなった。

【マッスルスーツ】利用者にとっては、職員がどっしりと構えてくれるため、安心感を強められるようになった。

(5)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

--

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

--